

令和元年度進捗評価シート
桑折町歴史的風致維持向上計画（平成28年3月28日認定）
(最終変更平成31年3月31日)

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画実施のための組織体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観行政団体への移行と景観計画策定	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 史跡桑折西山城跡等整備事業	3
2 史跡桑折西山城跡等周辺の誘導路及び駐車場整備事業	4
3 大樋遺跡(万正寺の大力ヤ)周辺整備事業	5
4 桑折宿の歴史的風致形成建造物等に関する修景助成事業	6
5 旧伊達郡役所周辺整備事業	7
6 屋外広告物等の景観に配慮した改善に対する助成事業	8
7 歴史・文化財を活かしたまちづくり推進事業	9
8 歴史・文化財学習講座事業	10
9 歴史案内人育成事業	11
10 小中学生の認識向上推進事業	12
11 桃源郷周遊型イベント支援事業	13
12 周遊性向上・案内板等整備事業	14
13 桃源郷周遊性向上事業	15
14 多言語周遊型観光パンフレット作成事業	16
15 文化財等保護活動団体及び歴史を活かしたまちづくり団体への支援事業	17
16 地域の文化遺産の調査及び継承支援事業	18
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定など	19
2 文化財の修理事業、文化財の周辺環境の整備事業、防災に関する取組など	20
3 文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組など	21
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 「桑折宿の町並み一望 福島・旧伊達郡役所の塔屋」他	22
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 観光入込客数の推移について	23
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)		
	24

進捗評価シート

(様式1-1)

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度 令和元年度	現在の状況
計画実施のための組織体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

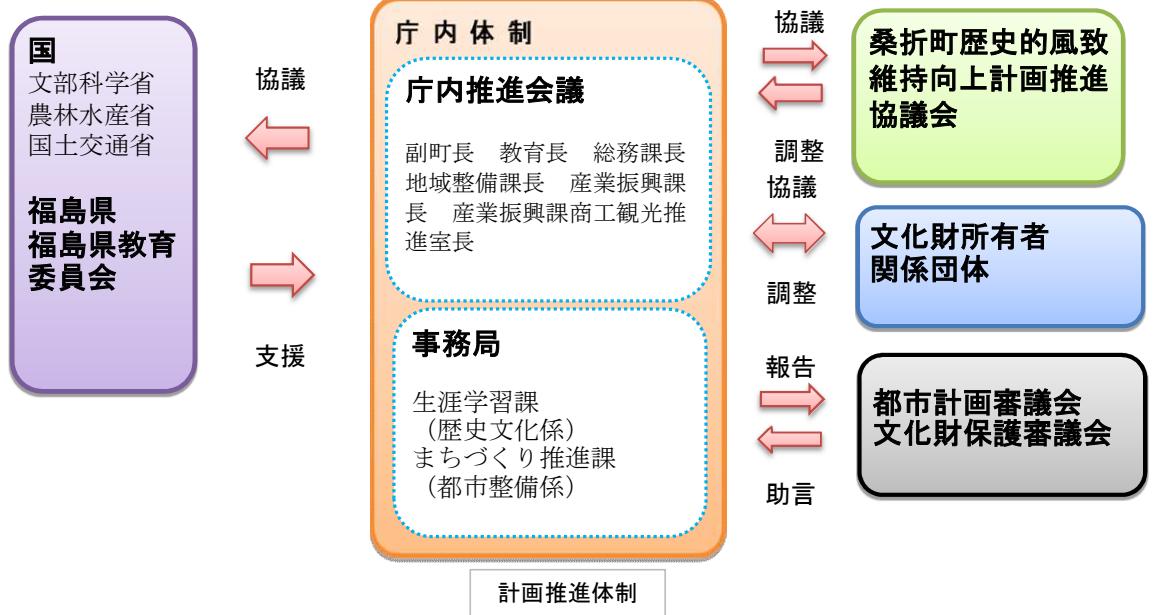
計画に記載している内容 計画を管理する生涯学習課・まちづくり推進課が事務局となり、計画策定時と同様に関係各課で構成する「府内推進会議」にて連絡調整を行う。また、国や県の関係機関と協議を行い、適切な支援を得る。桑折町歴史的風致維持向上計画推進協議会において、計画推進や変更、事業の実施に向けた協議を行い、事業を推進する。必要に応じ、都市計画審議会や文化財保護審議会、文化財所有者、関係団体などと連絡・調整を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

まちづくり推進課都市整備係と生涯学習課歴史文化係が事務局として、府内推進会議で事業の実施に係る調整、情報収集、進捗管理等を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	府内体制の中で、担当課の連携を密にし、事業を実施していく。

状況を示す写真や資料等



組織の変更

平成30年度～ 生涯学習課とまちづくり推進課が事務局となり体制を強化

会議の状況

桑折町歴史的風致維持向上推進協議会 平成31年4月23日

府内推進会議 平成31年4月19日

文化財保護審議会 令和元年5月17日

各事業における打ち合わせ等は随時



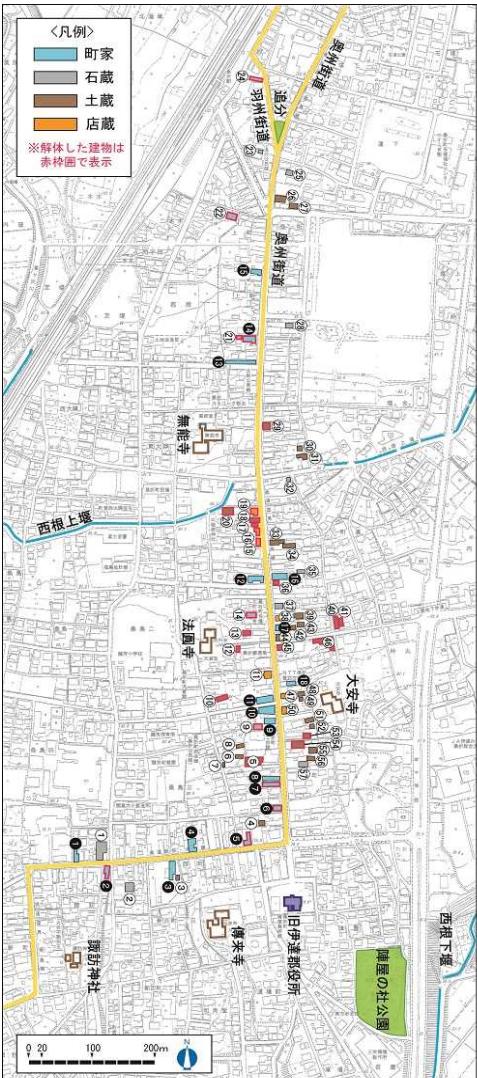
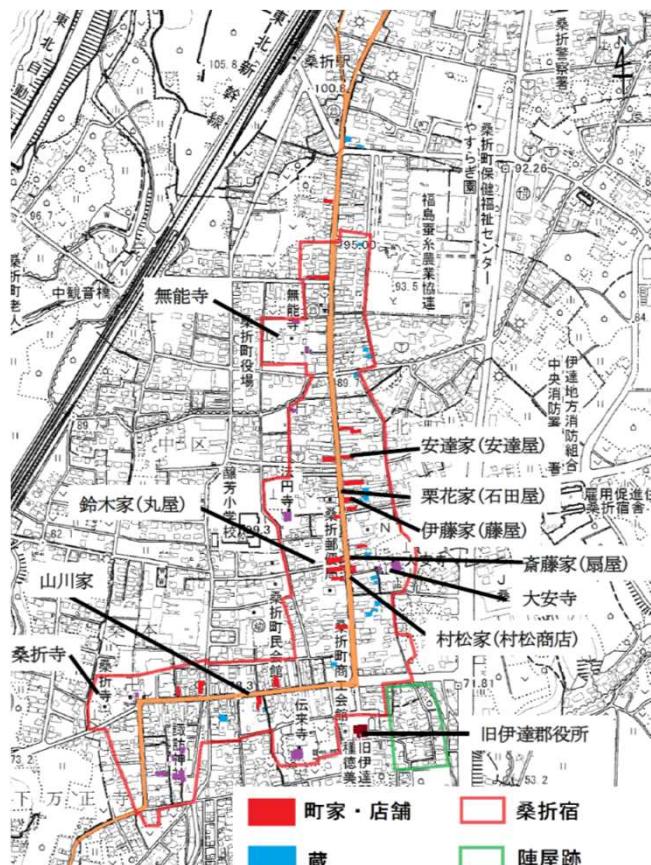
平成31年4月23日
桑折町歴史的風致維持向上計画推進協議会

進捗評価シート

(様式1-2)

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況																				
景観行政団体への移行と景観計画策定		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手																				
計画に記載している内容	福島景観計画に沿った規制を行う。また、重点区域内における建築物や工作物の建築・色彩の変更、開発行為その他の土地の形質の変更など一定の行為の制限に、自然と歴史的風致が一体となった良好な景観が形成されるよう町独自の制限を追加するため、景観行政団体への移行と景観法に基づく町独自の景観計画の策定を目指す。																					
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																						
都市再生整備計画事業で、桑折宿の歴史的町並み景観ガイドライン策定を検討した。																						
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																					
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	景観ガイドライン策定の検討の中で、桑折宿の景観形成のありかたを考えていく。																					
状況を示す写真や資料等																						
 <p>※解体した建物は赤枠で表示</p>	 <p>被害の状況 (単位:戸)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>戸数</th> <th>被害あり</th> <th>うち解体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>町家</td> <td>18</td> <td>12</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>石蔵</td> <td>14</td> <td>7</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>土蔵</td> <td>36</td> <td>31</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>店蔵</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>歴史的建物の調査範囲</p> <p>※解体した建物は赤枠で表示</p>		戸数	被害あり	うち解体	町家	18	12	5	石蔵	14	7	5	土蔵	36	31	15	店蔵	7	6	3	
	戸数	被害あり	うち解体																			
町家	18	12	5																			
石蔵	14	7	5																			
土蔵	36	31	15																			
店蔵	7	6	3																			
桑折宿の歴史的建造物調査成果と街道、西根堀																						

進捗評価シート

(様式1-3)

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度 令和元年度	現在の状況
史跡桑折西山城跡等整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成9年度～令和2年度	
支援事業名	歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業（文化庁国庫補助事業）	
計画に記載している内容	来訪者が戦国時代の山城を体験的に学習し、かつ、城跡からの眺望や自然を楽しみながら憩うことができる場所として、堀・土塁・大手道などの復元や遊歩道の整備、樹木の伐採、伊達氏閥連遺跡の解説も含めたガイダンス施設設置などの整備を行う。	
定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で		
令和元年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・大手道周辺整備工事（遺構解説板、遺構標識、案内標識設置工事） ・本丸・西館施設整備工事（本丸・西館樹木伐採工事） ・令和2年度工事実施設計（中館・西館枡形状虎口部分） 	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	整備計画を見直し、本丸の整備を優先的に行いながら、中館・西館や周辺は段階的に整備をしていく。	
状況を示す写真や資料等		
		
本丸全景 工事施工前	本丸全景 工事施工後	
		
大手門跡 整備前	大手門跡 整備後	
		
中館・西館 樹木伐採前	中館・西館 樹木伐採後	

進捗評価シート

(様式1-3)

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度 令和元年度	現在の状況		
史跡桑折西山城跡等周辺の誘導路及び駐車場整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手		
事業期間	平成29年度～令和3年度			
支援事業名	都市再生整備計画事業			
計画に記載している内容	史跡桑折西山城跡への道は未舗装となっており、整備が行き届いていない。史跡付近に広い駐車場が無く、アクセス道の道幅は狭いため、バスや大型の車で来訪に対応できないことから、桑折西山城跡整備事業に合わせて町道の改修と駐車場の整備を行う。			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で				
史跡桑折西山城跡の史跡指定地内外を結ぶ園路、進入路、案内標示等の整備計画を「都市再生整備計画」に盛り込み事業化。令和2年度事業として大手道周辺の遊歩道、案内表示等の整備計画を事業申請した。なお、史跡指定範囲内の大手門・砲台場周辺の整備を実施している。 史跡指定範囲内で大手道周辺の案内表示等を設置した。				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	大手道周辺の史跡指定地内における案内表示、解説等を設置できた。 町道や駐車場の整備については、既存施設の活用を含め、整備方法を検討する。			
状況を示す写真や資料等				
				
				
<p>桑折西山城跡周辺整備箇所</p> 				
<p>桑折西山城跡指定範囲内で整備した案内板(大手道入口)</p>				

進捗評価シート

(様式1-3)

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度 令和元年度	現在の状況		
大榧遺跡(万正寺の大力ヤ)周辺整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手		
事業期間	平成29年度～令和3年度			
支援事業名	都市再生整備計画事業			
計画に記載している内容	桑折西山城跡への大手道の手前に位置する大榧遺跡は、伊達氏関連の遺跡であるとともに、伊達氏関連の言い伝えが残る福島県指定天然記念物「万正寺の大力ヤ」がある。史跡桑折西山城跡の整備に併せ、伊達氏関連遺跡の一つとして、また、城跡へのアプローチの際の休憩場所として整備する。			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で				
福島県指定天然記念物「大力ヤ」の枝張りの傘下の民有地を、大力ヤの保護のため町有地として取得し、周辺を整備するという方針に基づき、公有化を目指して不動産鑑定を実施。所有者との交渉を行った結果、町有地となった。令和2年度から整備に着手する。 公有化:2筆、1,132.6m ² 、居宅1棟				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	樹勢が拡大してきている大力ヤの保護を第一に考えながら周辺整備を進めていきたい。			
状況を示す写真や資料等				
 <p>万正寺の大力ヤ周辺に2筆を公有化</p>				
  <p>公有化した土地と建物 カヤの枝が迫っている</p>				

進捗評価シート

(様式1-3)

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

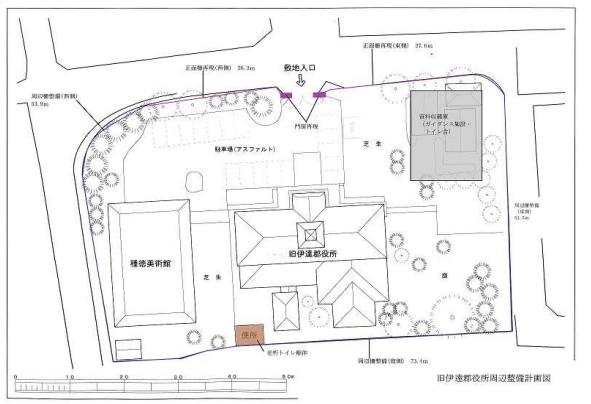
項目	評価対象年度 令和元年度	現在の状況		
桑折宿の歴史的風致形成建造物等に関する修景助成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手		
事業期間	平成28年度～令和7年度			
支援事業名	都市再生整備計画事業			
計画に記載している内容	桑折宿内に残っている歴史的建造物のうち、歴史的風致形成建造物について、修理・修景する際の費用の一部を助成し、定期的に一般に公開する。また、未指定の歴史的建造物についても、街道に面している部分を修景する場合の費用の一部を補助する。			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で				
桑折宿周辺歴史的町並み景観ガイドラインの検討をした。 民間主導で景観整備を行っている団体への先進地視察を計画(台風19号被害のため中止)。				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	先進地視察を計画したが、台風19号で実施できなかった。令和2年度以降に改めて実施し、活用していく。			
状況を示す写真や資料等				
				
<p>桑折宿周辺歴史的町並み景観ガイドライン策定の検討</p>				
				
<p>景観整備先進地視察を企画(台風19号被害で中止)</p>				

進捗評価シート

(様式1-3)

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

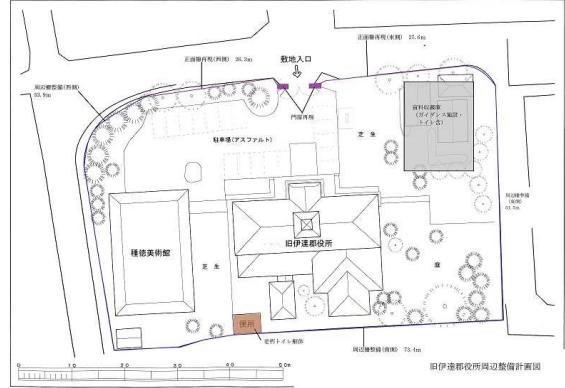
項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況		
旧伊達郡役所周辺整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手		
事業期間	平成31年度～令和7年度			
支援事業名	都市再生整備計画事業			
計画に記載している内容	旧伊達郡役所の周辺について、道路の美装化や無電柱化(地中以外の手法を含む)。旧伊達郡役所の柵やトイレの改修など良好な町なみを維持できるよう、景観に配慮した整備を行う。			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で				
都市再生整備計画に周辺道路の美装化や旧伊達郡役所周辺門扉・塀柵の明治期を再現した改修事業について盛り込み計画化した。				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	旧伊達郡役所が使用されていた時期の古写真等に基づき、景観に配慮した再現的な整備を図っていく。			
状況を示す写真や資料等				
 				
旧伊達郡役所の現況 建物は、重要文化財に指定された昭和52年から昭和54年まで半解体修理され、塔屋が復元された。建物公開のため、周辺も整備されている。		明治後期～大正のころの郡役所 木製の扉と柵が廻る。塔屋は明治20年(1887)に撤去されていた。		
				
旧伊達郡役所周辺整備事業計画図(左) 昭和後期につくられた景観に合わない旧伊達郡役所の正面の門・塀・柵を明治時代の景観を再現する。				

進捗評価シート

(様式1-3)

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

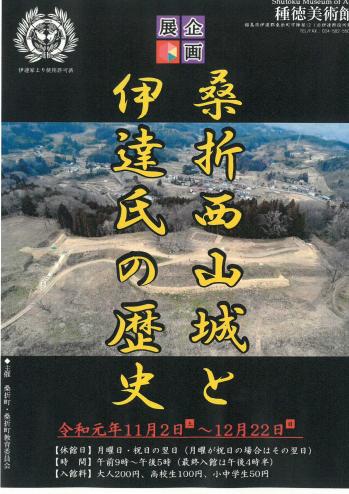
項目	評価対象年度 令和元年度	現在の状況		
屋外広告物等の景観に配慮した改善に対する助成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手		
事業期間	平成29年度～令和7年度			
支援事業名	都市再生整備計画			
計画に記載している内容	重点区域内の歴史的風致を形成する建造物等の周辺に存在する屋外広告物のうち、歴史的風致の風情を阻害する屋外広告物を景観に配慮したものに改修する場合、費用の一部を補助する。			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で				
<p>桑折宿景観形成のため、桑折宿歴史的町並み景観ガイドラインの検討をした。 旧伊達郡役所正面の門扉と柵を、明治の姿に再現する整備を計画し、令和2年度事業に盛り込んだ。</p>				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	調査成果から修景する範囲・方法を検討して都市再生整備計画に盛り込み、平成30年度に策定予定の都市再生整備計画をふまえながら事業を進めて行く。			
状況を示す写真や資料等				
				
桑折宿北町の景観 歴史的建造物と屋外広告が混在	旧伊達郡役所周辺整備事業計画図(上) 昭和後期につくられた景観に合わない旧伊達郡役所の正面の門・扉・柵を明治時代の景観を再現する。			
	桑折宿の本町 歴史的建造物と近代的な建築が混在			

進捗評価シート

(様式1-3)

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度 令和元年度	現在の状況		
歴史・文化財を活かしたまちづくり推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手		
事業期間	平成28年度～令和7年度			
支援事業名	町単独事業・福島県サポート事業			
計画に記載している内容	歴史や文化財を活かしたまちづくりや街並みや桃源郷の風景などの景観の維持・向上に関する住民向けの講演会やシンポジウムを開催する。また、史跡桑折西山城跡の完了後、「全国山城サミット連絡協議会大会」の誘致を目指す。			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で				
令和元年9月14日～令和元年9月15日 「桑折西山城復元祭」(820名参加) 令和元年11月2日～令和元年12月22日 桑折町種徳美術館企画展「桑折西山城と伊達氏の歴史」(399名来場) 令和元年11月27日～令和元年12月2日 桑折町種徳美術館企画「ペンで書いてみよう！写経・写仏体験」(28名参加)				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史まちづくり講演会を発展させた「桑折西山城復元祭」として開催し、令和3年度開催予定の「全国山城サミット大会」への第1歩を踏み出すことができた。大会開催に向け、町民意識の向上を図ることが課題である。			
状況を示す写真や資料等				
  <p>令和元年9月14日・15日 「桑折西山城復元祭」 桑折西山城跡本丸で開催</p> <p>令和元年11月2日～12月22日 桑折町種徳美術館 企画展</p>				
 <p>令和元年11月27日～12月2日 桑折町種徳美術館企画「ペンで書いてみよう！写経・写仏体験」(28名参加)</p>				

進捗評価シート

(様式1-3)

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
歴史・文化財学習講座事業		<input type="checkbox"/> 実施済	<input checked="" type="checkbox"/> 実施中
<input type="checkbox"/> 未着手			
事業期間	平成28年度～令和7年度		
支援事業名	町単独事業・福島県サポート事業		
計画に記載している内容	本町の歴史的風致への理解を求めるため、地域住民を対象に本町の歴史や文化財に関する学習講座を開催する。また、桑折町文化財保存会と連携しながら町内の小・中学生を対象に出前講座や現地説明会等を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>平成31年4月21日 「桑折歴史散歩」 54名参加 令和元年9月14日15日 桑折西山城復元祭 歴史トーク(野外講演会)、歴史散歩 820名参加(復元祭全体) 歴史案内人育成講座 前期・後期 87名参加</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史的風致への理解が深めるような講座を開催できるよう、文化財保存会や学校と連携しながら「桑折町歴史案内人」を活用し事業を実施していきたい。		
状況を示す写真や資料等			
 			
桑折歴史散歩「桑折西山城跡」 平成31年4月21日 参加者57名		「桑折西山城復元祭 歴史トーク・歴史散歩」 <p>令和元年9月14日、15日 歴史まちづくり講演会・歴史散歩を発展させ、日本を代表する城郭研究家、考古学研究家を招聘し、桑折西山城跡現地で野外講演会、城跡見学会等を行った。</p>	
			
歴史案内人育成講座 前期:6月22日～8月28日 桑折西山城跡をテーマに のべ4回47名 後期:12月11日～3月25日 のべ4回40名			

進捗評価シート

(様式1-3)

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度 令和元年度	現在の状況						
歴史案内人育成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手						
事業期間	平成28年度～令和2年度							
支援事業名	町単独事業							
計画に記載している内容	本町を訪問する観光客や小中学生の児童・生徒に対し、本町の歴史や伝統文化、町並み、観光スポットなど本町の魅力について語ることができる人材を育成するため、案内人の養成・研修を目的とした講習や現地視察等を実施する。							
参加	<table border="1"> <thead> <tr> <th>進捗状況</th> <th>※計画年次との対応</th> <th>実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/>計画どおり進捗している</td><td><input type="checkbox"/>計画どおり進捗していない</td><td>前期は、桑折西山城復元祭の案内人養成のため、山城に特化した講座とした。今後も山城サミット大会に向け、人材を育成していく。受講者には歴史案内人に登録してもらうよう働きかけ、登録者を増やし案内人活動を盛り上げていきたい。</td></tr> </tbody> </table>		進捗状況	※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している	<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	前期は、桑折西山城復元祭の案内人養成のため、山城に特化した講座とした。今後も山城サミット大会に向け、人材を育成していく。受講者には歴史案内人に登録してもらうよう働きかけ、登録者を増やし案内人活動を盛り上げていきたい。
進捗状況	※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)						
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している	<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	前期は、桑折西山城復元祭の案内人養成のため、山城に特化した講座とした。今後も山城サミット大会に向け、人材を育成していく。受講者には歴史案内人に登録してもらうよう働きかけ、登録者を増やし案内人活動を盛り上げていきたい。						
	状況を示す写真や資料等							
								
<p>歴史案内人育成講座 令和元年6月22日 前期 第1回「桑折西山城を歩く」</p> <p>29年度講座の修了生でもある桑折町歴史案内人が講師を務めた</p>		<p>歴史案内人育成講座 令和元年7月17日 前期 第2回「山城の基礎知識」</p>						
		<p>令和元年度 桑折町歴史案内人活動実績 (団体からの依頼分)</p> <p>案内団体数 12団体 延べ587名</p> <p>(この他、歴史案内人育成講座の講師や他団体企画イベント等でも活動)</p>						
<p>令和元年10月11日 桑折西山城復元祭での歴史案内人の引率</p>								
<p>令和元年12月11日 後期 第1回「伊達崎地区の歴史」</p>								

進捗評価シート

(様式1-3)

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度 令和元年度	現在の状況		
小中学生の認識向上推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手		
事業期間	平成28年度～令和7年度			
支援事業名	町単独事業			
計画に記載している内容	町内の小中学校と協力しながら、後世への伝承者である小中学生に本町の歴史や文化遺産に関する知識を持つもらうため、桑折町を総合的にかつ分かりやすく説明する教材を作成するとともに、桑折町文化財保存会やボランティアガイドと連携し、実地説明を行うなど、子供たちが体験しながら学べるような授業を開発する。			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で				
町内小中学校の学習に町歴史案内人や学芸員を派遣して歴史学習や史跡案内を行った。 ・令和元年5月16日 睦合小学校6年生総合学習「桑折町の歴史」 ・令和元年11月1日 酒匂小学校6年生社会科見学 校区内の歴史遺産見学 ・中学生の全学年に「桑折学のすすめ」を配布して活用をしてもらっている。				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	学校側と連携し、歴史案内人を活用しながら小・中学生の学習機会を増やしていきたい。			
状況を示す写真や資料等				
 				
令和元年6月4日 「睦合小学校2年生 旧伊達郡役所見学」 旧伊達郡役所の窓の仕組み他、構造や歴史について実際に見ながら学ぶ。				
令和元年5月22日 「半田醸芳小学校6年生社会科見学」 旧伊達郡役所を歴史案内人の案内で見学。				
 				
令和元年5月16日 睦合小学校6年生総合学習「桑折町の歴史」 町学芸員より、錦木塚古墳、半田銀山、旧伊達郡役所等の歴史を学ぶ。				
桑折学のすすめ～郷土愛を育むために 醸芳中学校の1年生全員に配布				

進捗評価シート

(様式1-3)

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度 令和元年度	現在の状況		
桃源郷周遊型イベント支援事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手		
事業期間	平成28年度～令和元年度			
支援事業名	町単独事業			
計画に記載している内容	阿武隈川氾濫原の果樹畠(桃源郷)周辺で花が咲いている時期や実が成る時期に行うイベントに対して支援を行う。			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で				
平成31年4月14日(日):春の果樹畠周辺でのイベント「献上桃の郷BBQフェス 2019」を行った。 平成31年4月21日(日):阿武隈川春のサイクリング 桑折町の桃源郷ポケットパークを折り返し地点に福島市御倉町から30kmのサイクリング。今年は、桑折町発祥の自転車「三元車」の復元モデルを展示。 令和元年11月17日(日):あぶくまウォーク2019の開催				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	阿武隈川氾濫原の果樹畠に誘客し、交流人口を増加させる事業として効果があった。令和2年度以降も、イベント自体は継続していく。			
状況を示す写真や資料等				
	<p>献上桃の郷BBQフェス2019 ポスター</p>			
	<p>献上桃の郷BBQフェス 一面に花が咲き誇る桃畠で焼き肉を堪能、桑折の素晴らしい景色と味覚を堪能してもらった</p>			
<p>阿武隈川春のサイクリング事業 桃の花が咲く時期に、福島市をスタート・ゴールとして、桑折町伊達崎地区の桃源境「桃の郷ポケットパーク」を折り返し地点とした30kmのコース。半田の鈴木三元が開発した最初期の自転車「三元車」の復元を展示</p>	<p>あぶくまウォーク2019 ルートが整備された桑折かわまちウォーキングコースを活用し、阿武隈川氾濫原の歴史を桑折町歴史案内人のガイドにより巡る。</p>			

進捗評価シート

(様式1-3)

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度 令和元年度	現在の状況		
周遊性向上・案内板等整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手		
事業期間	平成28年度～令和7年度			
支援事業名	町単独事業			
計画に記載している内容	市民や来訪者が、歴史的建造物や文化財等を楽しみながら効率よく巡ることができる散策ルートを検討・設定する。併せて、今後作成する案内板等の作成基準となる統一デザインを定めるとともに、散策ルートに合わせた案内板や案内標識、説明板の新設や更新を行う。			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で				
史跡桑折西山城跡の解説板や案内表示等サインを設置 町民からの寄付を活用し、老朽化した案内板の更新。 桑折陣屋跡 2件、無能寺 桑折代官墓所 2件、奥州・羽州街道追分柳の句碑 1件 計5件				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	案内板の維持管理をしながら利用できるものは引き続き利用していく。			
状況を示す写真や資料等				
 				
桑折西山城跡大手門跡 案内表示や遺構標柱を整備		桑折西山城跡 砲台場の解説板		
 				
奥州・羽州街道追分 柳の句碑解説板(修復前)		奥州・羽州街道追分 柳の句碑解説板 黒んで読めなくなっていたものを、原版の字体を一部スキャンして復旧。		

進捗評価シート

(様式1-3)

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

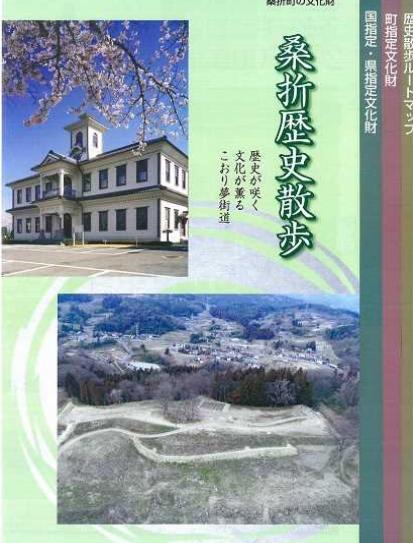
項目	評価対象年度 令和元年度	現在の状況		
桃源郷周遊性向上事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手		
事業期間	平成29年度～令和3年度			
支援事業名	都市再生整備計画事業			
計画に記載している内容	阿武隈川氾濫原の果樹畠(桃源郷)を印象的に体験できる周遊ルートの検討や案内看板の設置、駐車場・展望スペースなどの周辺環境の整備など、阿武隈川とも一体となった桃源郷の周遊性の向上を図る事業を行う。			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で				
'桑折地区かわまちづくり計画'事業として、桑折かわまちウォーキングコースを設定し、案内標柱・「蒸気のサクラ」案内板を整備した。 第5回春の阿武隈川サイクリング 平成31年4月21日 あぶくまウォーク2019 令和元年11月17日				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	回遊・体験に訪れる方々を現地に引き込む案内表示や導線づくり、活用・維持管理について関係団体との連携や協力といった体制づくりをしていきたい。令和元年度より案内板等のハード事業が開始されるたが、その利活用、維持管理には地元住民の協力が不可欠なので、今後地元での説明会を開催していく予定。			
状況を示す写真や資料等				
				
「蒸気のサクラ」の案内板 汽船の船着き場跡に設置、桃源郷周遊コースに案内標柱を併せて設置	「桑折かわまちウォーキングコース」桃畠に整備された コースのルート案内標柱			
				
第5回春の阿武隈川サイクリング 平成31年4月21日 福島御倉町から桑折町桃の郷ポケットパークまでのサイクリング	あぶくまウォーク2019 令和元年11月17日 桑折かわまちウォーキングコースを散策			

進捗評価シート

(様式1-3)

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

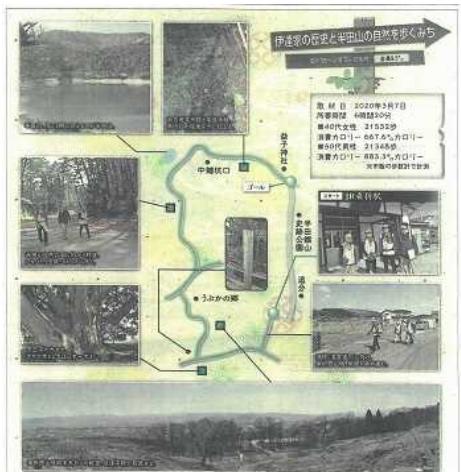
項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況		
多言語周遊型観光パンフレット作成事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手		
事業期間	平成29年度～令和元年度			
支援事業名	町単独事業			
計画に記載している内容	歴史的な町並み、文化財の分布、町の歴史などを網羅し、それらを堪能できる散策ルート等を紹介するパンフレットを作成する。なお、パンフレットは英語、中国語などの多言語のバージョンも併せて作成する。			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で				
史跡桑折西山城を紹介する「桑折西山城 城巡りMAP」パンフレットを作成した。 桑折町の文化財パンフレット「桑折歴史散歩」を改訂し増刷した。4,000部				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	外国人観光客が最も来訪する旧伊達郡役所の英語パンフは活用されている。歴史的風致維持向上計画の事業としては、令和元年度までの事業期間であるが、令和2年度以降もパンフレットを中心に作成したい。			
状況を示す写真や資料等				
 				
<p>史跡桑折西山城を紹介する「桑折西山城MAP」を作成</p> <p>パンフレット「桑折歴史散歩」を改訂</p>				
 <p>外国人観光客が旧伊達郡役所パンフレット〔英語版〕(平成30年度作成)を片手に見学</p>				

進歩評価シート

(様式1-3)

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度 令和元年度 現在の状況
文化財等保護活動団体及び歴史を活かしたまちづくり団体への支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間 昭和42年度～令和7年度	
支援事業名 町単独事業	
計画に記載している内容 文化財等の保存・活用に関わっている団体や歴史を活かしたまちづくり団体と連携しながら、本町の歴史や文化財保護等の啓発を行う活動や後継者育成のための事業などの支援を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
補助対象:文化財保存会、桑折町祇園ばやし振興会 (2団体、2件) 町商工会主催 伊達氏ルーツと桑折宿探索ツア一事業 歴史案内人が支援 (全6回、160名参加) 福島民報社連載「新奥の細道を行く」を歴史案内人が支援 (令和2年3月7日) 「桑折西山城復元祭」桐組太鼓(桐ヶ窪太鼓保存会)公演 (令和元年9月14日)	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	関係団体とさらに連携を密にしながら活動や事業の支援を進めていきたい。
状況を示す写真や資料等	
伊達氏ルーツと桑折宿探索ツア(桑折町商工会主催) 令和元年8月26日(月) 参加者25名 令和元年8月27日(火) 参加者24名 令和元年9月21日(土) 参加者27名 令和元年10月26日(土) 参加者10名 令和元年10月29日(火) 参加者24名 令和元年11月8日(金) 参加者50名 全6回 総参加者160名	
	
伊達氏発祥の地を歴史案内人がご案内	町なかの歴史的遺産と桑折の味覚を紹介
	
「桑折西山城復元祭」桐組太鼓公演 桑折西山城復元祭で、桐ヶ窪太鼓保存会(京都祇園囃子保存団体の一つ)が全国からのお客様を前に祇園囃子を披露	福島民報社『情報ナビTime』連載「新奥の細道を行く」の取材を歴史案内人が案内をして支援 案内人の「お勧めスポット」も紹介された

進捗評価シート

(様式1-3)

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

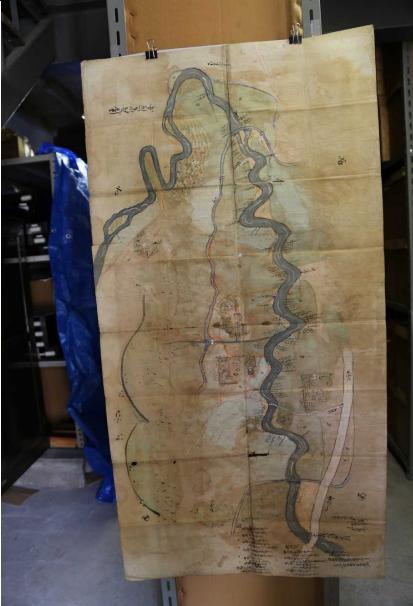
項目	評価対象年度 令和元年度	現在の状況
地域の文化遺産の調査及び継承支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間 調査: 平成28年度～令和2年度 継承支援: 平成28年度～令和7年度		
支援事業名 町単独事業		
計画に記載している内容 町内には詳細な調査・研究がされてこなかった歴史的建造物や文化財、祭礼などの文化遺産が多く残っている。それらの総合的な把握と記録保存などの学術的な調査を行い、データベース化を図る。併せて、活動ができるよう、伝統的な用具や衣装の修繕や担い手育成などの活動に対して、調査に基づく支援を適正に行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
町指定文化財の堰東京都祇園囃子を含む桑折町祇園ばやし振興会事業を支援した。 祇園囃子保存団体のひとつの田町町内会の山車修理を支援した。(コミュニティー助成事業) 桑折町種徳美術館企画展「桑折西山城と伊達氏の歴史」に先立ち、考古資料等を調査した。 開発に先立つ伊達崎城跡試掘調査を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	企画展やイベントに合わせた歴史的遺産や民俗芸能の調査・記録を続けていく。	
状況を示す写真や資料等		
 <p>桑折町祇園ばやし振興会事業を支援 桑折町総合文化祭に出演して祇園ばやしを披露</p>		
 <p>企画展「桑折西山城と伊達氏の歴史」に先立ち資料を調査 旧家の古文書を調査して展示</p>		
 <p>伊達崎城跡第3次試掘調査 遺構・遺物とともに検出されなかった。</p>		
 <p>田町町内会の祇園囃子を演奏する山車・太鼓の修理を支援した。</p>		

進捗評価シート

(様式1-4)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度 令和元年度	現在の状況
文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定など		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	これまでの調査・研究を活かし、現状及び実態の把握に努め、リストアップしデータベース化する。文化財指定がふさわしいと判断されたものについては、指定に向け取り組む。歴史的建造物については、以前の調査結果を活用しながら、調査を行う。祭礼や伝統行事などの無形民俗文化財について、次世代に残すために調査・記録保存をする。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
種徳美術館企画展のため、考古資料・町史編纂収集資料や町内所在歴史資料を調査した。 開発に伴う埋蔵文化財調査:伊達崎城跡試掘調査		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後も未調査の有形文化財の調査や、民俗文化財の調査・記録保存を継続する。整理し、目録化した古文書の公開ができるような体制づくりをする。	
状況を示す写真や資料等		
  <p>考古資料・古文書・仏像等を調査し、桑折町種徳美術館企画展「桑折西山城と伊達氏の歴史」で公開</p>		
 <p>伊達崎城跡試掘調査(遺構・遺物ともに検出されなかった)。</p>		

進捗評価シート

(様式1-4)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度 令和元年度	現在の状況		
文化財の修理事業、文化財の周辺環境の整備事業、防災に関する取組など		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手		
計画に記載している内容 文化財の修理や整備にあたっては、法令に基づき、また、文化庁等の関連機関の指導を受けつつ実施する。民間所有の文化財の修理にあたっては、補助金等の支援を行い、各種財団等の補助制度の活用の助言を行う。文化財周辺の整備は、当該文化財や周辺環境との調和のとれたものとする。防火対策は、法令に基づいた適切な予防対策をとり、文化財防火デーの取り組みなどで文化財保護への関心を高める。				
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で 史跡桑折西山城跡では、文化財に親しむ取り組みとしてボランティア草刈りを行い、地元企業や町民が多数参加した(約90名)。また、野生のイノシシ等による被害を防ぐため、地元町内会と連携し、防護柵を設置した。文化財防火デーの取り組みとして、消防署や消防団と協力し、重要文化財「旧伊達郡役所」で防火訓練を行った(参加者150名)。				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地元住民の文化財に対する深い理解と多大なる協力のおかげで実施できている取り組みである。今後も継続して取り組んでいきたい。			
状況を示す写真や資料等				
 <p>史跡桑折西山城跡草刈ボランティア 地元住民や企業など約90名が参加 今年度は桑折西山城復元祭の直前にも実施</p>				
<p>文化財防火デーに合わせ重要文化財旧伊達郡役所で防火訓練を実施（令和2年1月26日 参加者150名）</p>   <p>消防団員と消防署員による放水訓練 文化記念館職員や地元住民が消火器による消火訓練を体験</p>				

進捗評価シート

(様式1-4)

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度 令和元年度	現在の状況
文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組など		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	桑折西山城跡等の文化財について歴史講座を開催したり、歴史や文化財を活用したイベントなどを行い、認識を深める。パンフレットやマップ、案内板、ボランティアガイドなどを充実させる。文化財保護団体や伝統芸能団体への支援を行い、活発な活動を行えるようにする。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<p>桑折西山城復元祭 遺構整備が完成した史跡桑折西山城跡本丸で、野外講演会、遺構見学会等を開催</p> <p>種徳美術館企画展「桑折西山城と伊達氏の歴史」 古文書、考古資料、仏像等を使って史跡桑折西山城跡や伊達氏についての歴史に関する展示を開催</p> <p>旧伊達郡役所塔屋見学会 普段は公開されていない文化財建造物の塔屋を期間、人数を限定して公開。</p> <p>桑折西山城跡歴史散歩 遺構整備が完成した本丸を中心に、歴史案内人の説明により見学。</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	平成30年度から活動を開始した歴史案内人制度を広く周知し、活用してもらえるよう体制を強化していく。	
状況を示す写真や資料等		
		
桑折西山城復元祭 令和元年9月14日、15日 参加者820名 桑折町文化財保存会、桑折町商工会、JAほか、町内の文化団体、経済団体他と連携し、実行委員会を組織して実施した。	種徳美術館企画展 「伊達氏と桑折西山城の歴史」 令和元年11月2日～12月22日 来館者399名	
		
旧伊達郡役所塔屋見学会 令和元年5月4日、5日 参加者約62名	桑折西山城跡歴史散歩 平成31年4月21日 参加者 54人	

進歩評価シート
評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		年月日	評価対象年度 令和元年度	掲載紙等			
桑折宿の町並み一望 福島・旧伊達郡役所の塔屋		令和元年5月5日		河北新報			
西山城からの眺望満喫 桑折 今日まで「復元祭」		令和元年9月15日		福島民報			
14、15日西山城復元祭 中世の霧囲気体験を		令和元年9月12日		福島民報			
文化財火災から守れ		令和2年1月28日		福島民友			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で							
地元紙にイベントや文化財保護事業、歴史案内人の活動を取り上げられることで、広く周知することができた。報道によって町の歴史的遺産や保護活動が紹介されたことで、町内外から多くの参加者を呼び込み、歴史的遺産を後世に伝える意識を醸成することができた。							
進捗状況	※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)					
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし		地元紙の読者が記事を読んで講座やイベントに参加するケースが多いので、今後も広く周知できるよう情報発信に努め、歴史的背景から桑折町の歴史について関心の高い仙台圏の方にも周知できるよう努める必要がある。					
状況を示す写真や資料等							
<p>桑折宿の町並み一望 初の見学会 西山城跡、吾妻連峰も</p> <p>福島・旧伊達郡役所の塔屋</p> <p>河北新報 令和元年5月5日</p> <p>福島民報 令和元年9月12日</p> <p>14.15日 西山城復元祭</p> <p>中世の霧囲気体験を</p> <p>桑折宿 復元祭開催</p> <p>西山城からの眺望満喫</p> <p>福島民報 令和2年1月28日</p> <p>文化財火災から守れ</p> <p>はしご車放水訓練</p> <p>桑折・旧伊達郡役所周辺</p> <p>文化財「旧伊達郡役所」周辺で防火訓練を行なう消防団</p> <p>福島民報情報ナビタイム 令和2年4月9日(部分)</p> <p>連載「東北自然歩道 新奥の細道を行く」13</p> <p>福島民報情報版の俳人中村晋氏の連載取材を歴史案内人が案内した。案内人のコメントも掲載。</p>							

進捗評価シート

評価軸⑥-1

その他(効果等)

(様式1-6)

		評価対象年度	令和元年度								
項目		観光入込客数の推移について									
計画に記載している内容	歴史的風致の維持向上を図ることで、町民の意識が向上し、観光を中心とした交流人口の増加が期待される。										
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付											
旧伊達郡役所入館者数 平成27年度8,881人、平成28年度10,256人、平成29年度5,594人、平成30年度10,397人、令和元年度3,906人 桑折西山城跡来場者数 平成27年度405人、平成28年度370人、平成29年度486人、平成30年度804人、令和元年度1,939人 桑折西山城復元祭、桑折西山城跡歴史散歩、旧伊達郡役所塔屋見学会、半田山山開き等、交流人口増加の試みを行った。											
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)										
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	史跡整備の進展とイベント開催により、桑折西山城への来場者が飛躍的に伸びたが、旧伊達郡役所は、スタンプラリーの設置個所から外れたため減となった。建物を活かした魅力を感じてもらえる施設となるような活用方法を検討したい。										
状況を示す写真や資料等											
 											
<p>「桑折西山城復元祭」 令和2年9月14・15日 来場者約820名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史トーク、夜の本陣・月見の宴、歴史散歩を柱に、茶の湯会、戦国市等を開催 											
 											
<p>旧伊達郡役所塔屋見学会</p> <p>ゴールデンウイークに普段公開されていない部分を初公開 参加者 62名</p>		<p>上: 半田山開き 参加者 500名 下: 献上桃の郷BBQフェス 参加者 848名</p>									
<p>桑折町の観光入込客数の推移</p> <table> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>135,282人</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>114,240人</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>146,991人</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>112,010人</td> </tr> </tbody> </table>		平成28年度	135,282人	平成29年度	114,240人	平成30年度	146,991人	令和元年度	112,010人		
平成28年度	135,282人										
平成29年度	114,240人										
平成30年度	146,991人										
令和元年度	112,010人										

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和元年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称：桑折町歴史的風致維持向上計画推進協議会	
会議等の開催日時：新型コロナウィルス感染症拡大防止のため、書面会議で開催	
(コメントの概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事務局の人数が足りない。専門的分野であるため、人材に配慮が必要である。 ・主管課は生涯学習課であるのか。史跡整備は進行しているが、まちづくりに関しては計画があいまいになっている。組織上の問題があるのではないか。 ・景観行政団体への移行に向けた歩みになっているかどうか、基本に戻って当初の目的に対する課題を洗い出してみてはどうか。課題によっては、現実的な着地点を探してみても良いのではないか。 ・景観計画の策定について、「何年までに町独自の景観計画の策定を目指す」と掲げたほうが良い。 ・史跡桑折西山城跡とその周辺整備について、これまで進めてきた以外の部分(本丸からの眺望確保、大手道遊歩道整備、中館・西館の虎口以外の部分の整備)を今後も進めていくべき。 ・万正寺の大力や周辺整備において、公有化した土地の建物もガイダンス施設や歴史案内人の学習施設等に活用する等を意識して整備してほしい。 ・旧伊達郡役所周辺の門・塀・柵を明治期を再現するとあるが、建物と門・塀・柵の時代的整合性を考慮すべきである。 ・「景観ガイドライン策定の検討」とあるが、景観関係の事業の未着手感がある。 ・景観形成事業のための組織づくりをしてはどうか。 ・歴史・文化財を活かした学習によって、町民意識の向上を図り、全国山城サミット、歴史案内人育成を行って欲しい。 ・町外の参加者を増やすことが交流人口の増となり、かつ他のイベントの情宣にもなる。 ・歴史案内人講座に参加し続けることが認識の向上につながるようなシステム(級付け等)があつてもいい。ただし、区別されることによる参加者の認識への影響は考慮すること。 ・「子供案内人」を立ち上げることがあってもいいのではないか。 ・小中学生の認識向上も大切だが、教師の認識向上のための取組みも必要だ。 ・『桑折学のすすめ』は、配布するだけでなく、活用への積極的な支援・関与が必要。 ・桃源郷周遊型イベント支援事業は、4月開催が多く、年間を通じて分散して開催し、桑折町への認識を深めてもらうべき。 ・町全体の史跡等の案内板を桑折駅に設置し、所要時間やモデルコースを設定するのも良い。 ・多言語パンフレットの作成は、今後も必要となってくる。 ・古文書や民俗資料等、世代交代で資料の廃棄が進んでいるので、情宣活動を行いながら資料の調査を継続してほしい。 ・資料の保存と活用のための資料館の設置について、場所・方法併せて考えていくべき。 ・調査成果について、企画展や広報への掲載等、町民に周知・公開する活動が必要だ。 ・文化財周辺環境整備や防災に関する取組について、小中学生、高校生等が参加できるようにすることも期待したい。 ・「仙台圏」への周知については、河北新報以外にも、仙台市教育委員会との連携も必要だ。 	
(今後の対応方針)	
<ul style="list-style-type: none"> ・関係各課と事業を分担し、事業の推進をしていく。 ・山城サミット事業を中心になしながら、町民認識の向上を図るような事業を展開する。仙台市や白石市等 仙台圏と連携しながら事業を展開していく。 	